

4 企業会計

公営企業局

水道事業会計 主な収益の推移

(単位:千円)

項目	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 当初予算	令和6年度 当初予算	前年度増減
給水収益	※7,762,052	8,681,492	※7,913,935	8,543,648	8,482,020	△ 61,628
分担金	183,816	368,458	300,045	298,610	236,470	△ 62,140

※ 令和2年度及び令和4年度は、基本料金の減免を実施

水道事業会計

尼崎市の水道

通水開始時期	大正 7 年	
配水能力	318, 573 m ³ /日	
配水管延長	1, 010 km	
給水戸数	251, 200 戸	
年間総配水量	52, 061, 000 m ³	(前年度比 -0.1%)
1 日平均配水量	142, 633 m ³	
年間総給水量	47, 890, 000 m ³	(前年度比 -0.9%)
1 日平均給水量	131, 205 m ³	
阪神水道企業団		
1 日平均受水量	113, 003 m ³	(前年度比 -7.7%)

- (1) **水道事業の施設のあり方** 43, 956
 公営主要 (52, 106)
 P3 人口減少に伴う水需要の減少により、施設能力と水需要との乖離が広がることが見込まれる中、将来の投資や維持管理費用の縮減を図り、水道水の安定した供給の継続を目指す。
 ・神崎浄水場受変電設備更新工事
 ・柴島取水塔連絡橋耐震工事
 ・神崎浄水場水質計器更新
 債務負担行為（6年度提出分）金額 870, 916
- (2) **管路の計画的更新と維持管理** 1, 710, 587
 公営主要 (1, 559, 258)
 P5 「重要度・老朽度・耐震性」の 3 つの観点から配水管の更新優先度を設定し、投資規模の平準化を図りつつ、計画的に管路を更新する。また、管路の維持管理においては、従来の対処的な修繕等を施すのではなく、より効率的かつ計画的な予防保全の取組を推進する。
 ・配水管整備工事 8.0km
 基幹管路の耐震化率 見込み 53.7%
 ・維持管理点検及び維持管理工事
 ・延命化策定支援業務委託
 ・人工衛星広域漏水調査業務 等
 債務負担行為（6年度提出分）金額 6, 479
- (3) **配水ブロック化（市内配水エリアの整理）** 46, 698
 公営主要 (0)
 P6 配水ブロック化（市内 20 ブロック）に取り組み、水の流れを単純化し、平時の漏水の把握や大規模災害時の断水解消への対応の迅速化を図るとともに、課題となる猪名川浄水場の機能集中の改善を目指す。
 ・配水ブロック化（3 ブロック）
 ・水圧監視装置の設置 等
- (4) **水質管理の徹底** 22, 924
 公営主要 (19, 216)
 P7 水道水の安全・安心の維持・向上を確保するため、水安全計画及び水質検査計画の運用を通じ、水源から蛇口に至るリスクの未然防止や適切な対応等を講じ、水質管理の徹底を図る。
 ・水質分析機器等の購入



神崎浄水場 供用開始：大正 7 年



配水管更新工事

- (5) **鉛製給水管の解消** 245, 837
 (200, 815)
 鉛製給水管は、水道水の長時間滞留で鉛成分が水中に溶け出すことにより水質基準を超過する可能性があり、健康への影響が懸念されることや、漏水の発生を抑制するため、公道部の鉛製給水管の取替工事等を行う。
 ・公道部の鉛製給水管の取替工事 (601 か所)
 ・鉛製給水管の個別通知 (12, 000 件)

- (6) **応急給水拠点の整備及び市民や地域との連携の充実** 33, 391
 (26, 081)
 公営主要 P8 災害などによる断水時にも水道水を供給するために、避難所となる市内の小中学校等に「応急給水栓」を整備する。
 また、地域住民の皆様が自身で応急給水拠点の開設を行えるよう、整備済みの拠点において定期的な訓練を実施する。
 ・応急給水拠点の整備 (6 か所)
 ・応急給水拠点での訓練実施 (20 回程度)



応急給水栓とベンチ式倉庫

- (7) **経営の効率化** 6, 414
 (7, 935)
 公営主要 P9 お客さまサービスや業務効率化の向上に向けた ICT の利活用を推進するなど、さらなる経営の効率化を図る。
 業務上の制度やルール等に関する情報をデータ化し、必要な情報を導き出す業務用生成 AI サービスを導入する。また、継続的に期限内納付しているお客さまに対して優遇措置を行い、収納率の定着、向上を図る。
 ・業務用生成 AI サービスの導入
 ・期限内納付者への優遇措置 等

- (8) **広報・広聴（ウォーターニュースあまがさき発行ほか）** 4, 174
 (15, 148)
 公営主要 P9 市民のライフラインである水道の大切さを市民に改めて認識していただくとともに、事業に対する理解を一層深め、親しみを持っていただくため、広報紙「ウォーターニュースあまがさき」の発行などに取り組む。
 ・広報紙「ウォーターニュースあまがさき」の発行
 ・市民まつりにおける啓発 等
 令和 6 年度からは、配布頻度を見直し、広報紙の発行回数を年 4 回から 2 回に変更する。



ウォーターニュース

- (9) **阪神水道企業団等からの受水に要する経費** 3, 937, 573
 (3, 882, 641)
 用水供給事業者である阪神水道企業団（神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、宝塚市）及び兵庫県からの受水等に係る経費